

質問事項/質問の背景・問題点	質問内容	答弁内容	答弁に対する考え
<p>○スピード、信頼、確信、決断 福島県は緊急に世界・日本・県民に対し、県が直面する課題を確実に解決し、復興を必ず成し遂げるという「信頼」と「確信」を与えなければなりません。</p>	<p>①様々な課題にスピード感を持って取り組み、決断して行くことについての知事の決意を伺いたい。 ②復興計画の進行状況を分かりやすく県内外に示すべきではないか？</p>	<p>①【知事】常にスピード感を持って、総合的な視点から判断し、1日も早い本県の復興・再生に全力をつくす考え。 ②進捗状況及び評価結果について県内外に分かりやすい形で、適時適切に公表して行く。</p>	<p>あとは実行力とスピードです。そして同時にその復興に向けた取り組み、進捗を適切・タイムリーに県民・そして福島県の復興を支えるすべての人に情報を発信し、福島県の復興に向けた「本気度」をアピールし続けることが大切です。</p>
<p>○除染と仮置き場 県勢をいち早く取り戻し、復興を早める為に、県は主体的に仮置き場の設置に取り組み、単に国の示す除染方針や放射能の汚染度合いだけでなく、複合的な観点から除染の優先順位を明確にし、緊急に主導しなければなりません。</p>	<p>①仮置き場の確保ができない状況での実施する除染作業の問題に対する県の認識は？ ②仮置き場の設置に県も主体的に取り組むべきではないか？ ③県勢回復のため、どの様な考えで除染を進めてゆくの？</p>	<p>①仮置き場の役割は重要。 ②仮置き場の設置については、地域の実情に精通した市町村の取り組みが重要で市町村と一体となって確保に取り組む。 ③除染特別地域は国が策定する市町村別の実施計画に市町村の意向が十分反映できるよう国と連携し、それ以外は市町村の策定する計画に基づき除染を進めるよう支援。</p>	<p>仮置き場の設置状況が除染推進の大きな問題となっています。確かに法律上は国と市町村が設置の責任を持っていますが、これは福島県の問題ですから、県も主体的に仮置き場の設置に取り組むべきです。国や単純に数値に基づいて除染を進めるのではなく、福島県として県勢を回復するために何が最善か、考え方を明確にして除染を進めるべきと考えます。福島県の意味・主体性をもと</p>
<p>○汚染廃棄物と中間貯蔵施設 除染を着実に進め、また仮置きが長期・恒常的な状況とならないよう、除染による汚染廃棄物が確実に・適切に処理される為の検討・準</p>	<p>①国が示した中間貯蔵施設の規模をどの様に受け止めるか？ ②除去土壌は仮置き場から3年程度で全て中間貯蔵施設に搬入できるか？</p>	<p>①国の示す中間貯蔵施設において、全ての除去土壌等が保管可能であると認識。 ②3年程度を目途として中間貯蔵施設への搬入を開始するとされ</p>	<p>本格的な仮置きが既にはじまり、国の示した「3年程度」での中間貯蔵を確実に進めるのに時間がありません。その為に必要な多くの検討事項を確実に処理しなくてはなりません。その意味で中間貯</p>

<p>備が必要です。中間貯蔵施設の設置の遅れが復興の妨げとならないよう、福島県も主体的に取り組まなくてはなりません。</p>	<p>③除染に伴う廃棄物や指定廃棄物の埋め立て処分について、既存の管理型処分場で処理が可能か？</p>	<p>ており、国の責任において取り組むべきもの。 ③当面は埋め立て可能。</p>	<p>蔵施設の容量が十分であること、3年程度で処理されるべきという見方が示されたのは評価します。ただ、これは福島県の将来の問題であり、国まかせではなく、そこに県が主体的に関わり確実な処理に向けた取り組みをするべきです。</p>
<p>○健康管理 子どもの甲状腺検査、内部被ばく検査を広く・速やかに受診できる体制を整え、自ら理解して健康管理できる仕組みをつくるのが大切です。また様々な調査に関する情報公開を進め客観的でオープンな視点で議論できることが大切です。</p>	<p>①甲状腺検査について毎年受けられるようにするべきではないか？ ②希望する県民がいつでも内部被ばく検査を受けられる体制を整備するべきではないか？ ③放射線の健康影響について専門家がオープンに議論できる環境を整えるべきでないか？</p>	<p>①数年に一度の検査間隔でも早期がんでの診断が十分に可能との医学的知見を踏まえ、(現状の2年に1回で)検査に取り組む。 ②効率的な検査体制を構築し、他県等の更なる協力も得ながら、出来るだけ多くの検査が実施できるよう取り組む。 ③オープンな議論は県民の理解を深める上で極めて重要。今後ともつとめてゆく。</p>	<p>安心は決して説得するものではなく、不安に思う方々に手を差し伸べて感じてもらうものです。その点からして、県の検査への対応はまだまだ改善が必要です。多くの方が自らの検査結果をみて、そしてオープンな議論と照らし合わせて理解をし、生活習慣に反映できるようにすること、また検査結果から注意が必要な少数の方々に対して適切なケアを速やかに行うことのできることを、こうした対応が必要になります。</p>
<p>○東京オリンピック招致 福島県の復活への意思表示と世界へのアピールの為に、そして私たちが大きな目標を共有して復興に進むために、積極的に関わる必要があります。</p>	<p>①2020年東京オリンピック招致にどの様に関わってゆくか？</p>	<p>①招致計画に関する専門委員会において、アジア地区予選や国内代表者選考会などを被災地域で開催できるよう提案している。地域に貢献し世界にアピールし得る取り組みを求めてゆく。</p>	<p>招致が決まっていない段階で、まだ慎重な対応が必要とのことですが、招致が決定した際には、是非とも積極的にフクシマの復活する姿を世界にアピールして頂きたいと思います。試合の実現はできませんでしたが、その他の多くの機会を最大限に生かすべくサポートして行きます。</p>